

World Vision

この子を救う。未来を救う。



ルワンダに住むエリックくん

写真協力:前康輔



ムラホ(やあ)! ぼくの名前はエリック。アフリカのルワンダという国に住んでいます。13才で、7人兄弟の6番目。お母さんは病気で入院しているから、お父さんとおばあちゃんと暮らしています。



これがぼくの朝ごはん。朝ごはんは、この紅茶を一杯飲むだけなんだ。



学校から帰ったら早速お手伝い。家には水道がないから、生活に使う水を川までくみに行くよ。片道2キロ、30分の道のり。帰り道は、10リットルの水を入れたタンクを持って、坂を上ります。



ここが水をくむ川。見てのとおり、決してきれいではないけど、水をくめる場所はここしかないんだ。手を洗ったり料理をしたり、飲み水にも使うよ。この水くみを、1日に2～3回繰り返します。



ほかにも、いろいろなお手伝いをします。牛の世話、食事を作るための薪割り、近所の子どもの世話…。朝ごはんの紅茶だけじゃ、おなかぺこぺこになっちゃうよ。



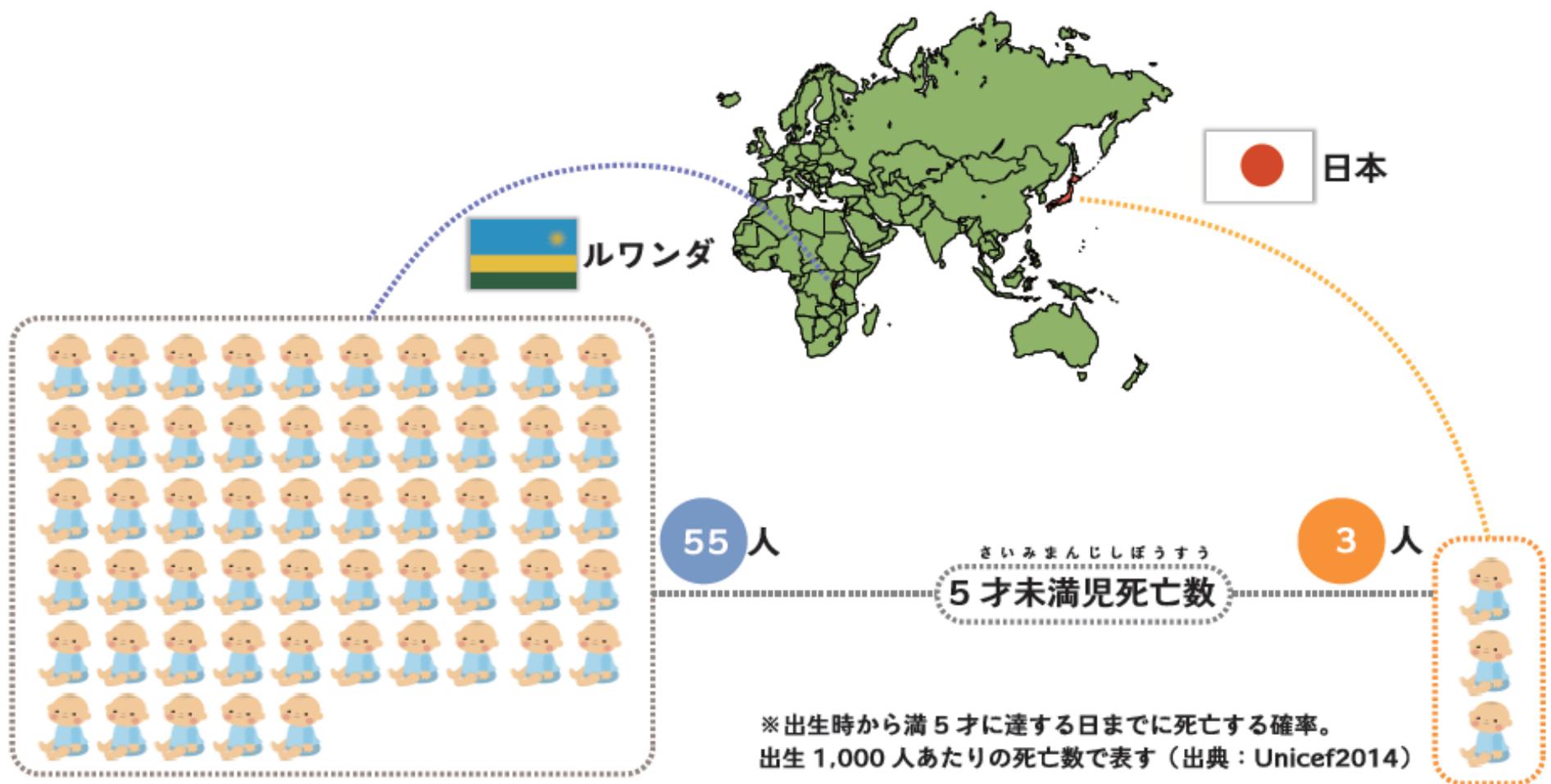
これは、お昼ごはんの準備をしているところ。家の畑で採れたピーナッツをうすに入れて、細かく砕き、かごでふるっておなべに入れて料理します。



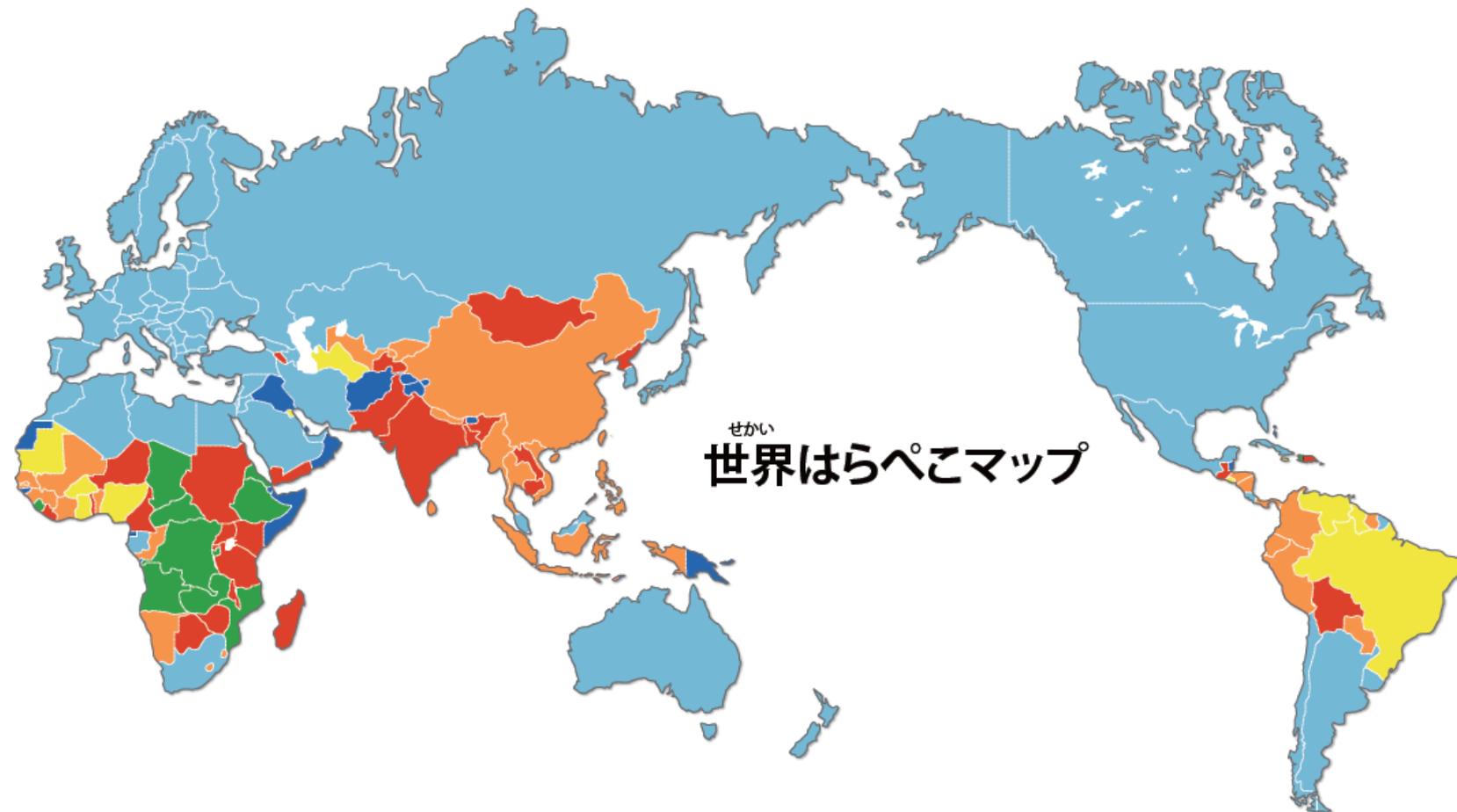
砕いたピーナッツのほかにも、なす、トマト、ハウレン草に似た野菜などを炒め、水を加えて塩で味付けしたら、シチューのできあがり！



ぼくたちの主食は蒸したバナナ。さっきのシチューをかけて、みんなで分け合って食べるよ。お昼ご飯が1日で1回だけの食事なんだ。ぼくたちは、蒸しバナナでお腹がいっぱいになったとしても、そればかり食べているから栄養が足りないんだって。



ルワンダでは、1,000人の赤ちゃんが生まれると、55人の赤ちゃんが5才まで生きられずに死んでしまいます。いろんな理由があるけど、栄養が足りないことは、とっても大きな問題です。



せかい
世界はらぺこマップ

- | | | | |
|-------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
|  | おなかがすいている人が、とても少ない国 |  | おなかがすいている人が、多い国 |
|  | おなかがすいている人が、少ない国 |  | おなかがすいている人が、とても多い国 |
|  | おなかがすいている人が、少しいる国 |  | データがない国 |

出典: WFP2011

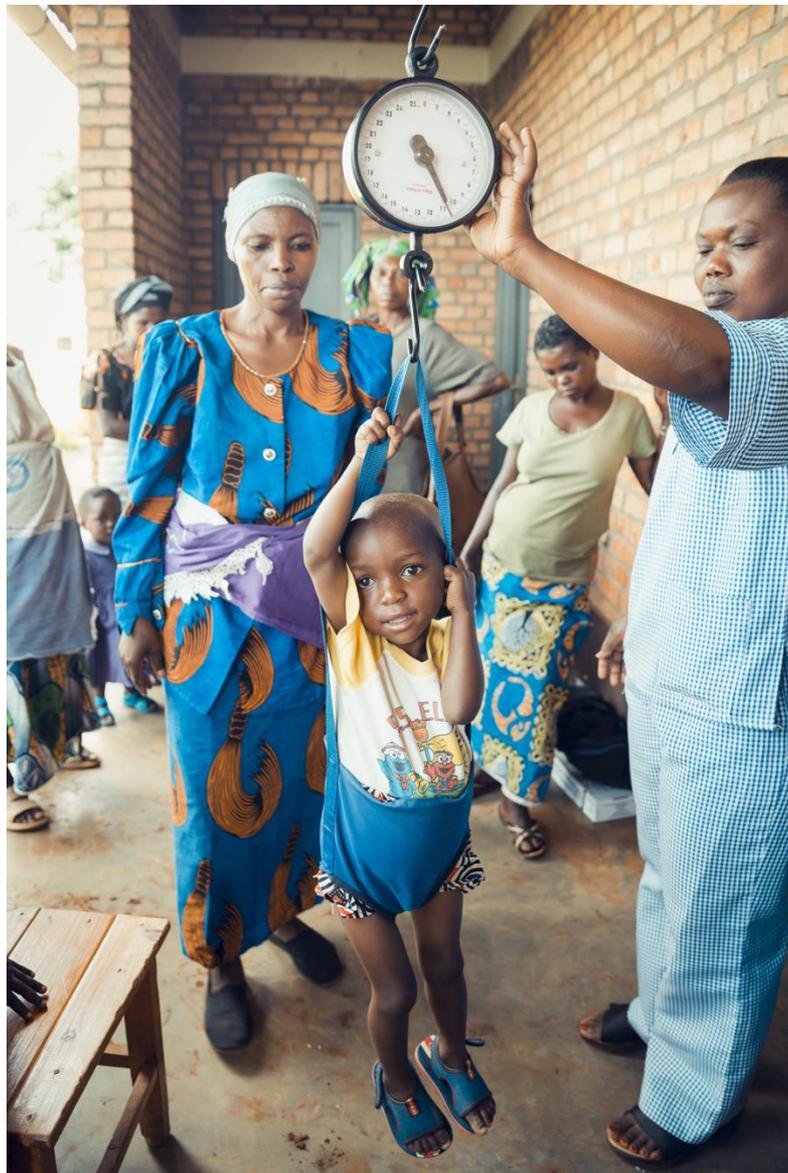
世界中に、食べ物が足りなくて困っている人々があります。この地図で、緑や赤に塗られている地域は、特に食べ物が不足しています。5才まで生きられずに死んでしまう子どもたちは、年間660万人もいます。その半分近くに、栄養不足が関係しているのです。



ルワンダのこの地域では、保健センターで子どもたちの腕の太さを測って、栄養が足りているかどうかを確認します。メジャーが差している黄色は、栄養が足りない状態です。



子どもたちが十分な栄養を取って、大きく成長するためには、食事の準備をするお母さんが大事。ワールド・ビジョンは、お母さんたちが栄養について学べる研修会を開いています。



月に一度の検診では、子どもたちの体重や身長を測定し、元気に成長しているかどうかを確認しています。



日本のみんなは、1日に何回食事をしますか？どんなものを食べていますか？
世界中の子どもたちが、5才のお誕生日を迎えて元気に大きくなっていけるように、みんなで応援していきましょう！「何もかも」はできなくとも、「何か」はきっとできる」